

## 日本海側における新たな拠点港湾の選定について

北信越部会提出  
説明担当 長岡市

近年、東アジアの急速な経済成長を背景に国際物流は米国を中心とした太平洋物流の時代から、東アジアを中心とした日本海物流の時代へと転換しつつあり、我が国の貿易も、かつての対米国中心から、中国を中心とする対東アジアに移っており、その割合は米国をはるかに上回る状況となっています。

近隣諸国では、し烈な貨物の獲得競争から、大量一括輸送による効率化のために港湾インフラの整備が進められ、低コストで高水準のサービス提供をすることによって世界中の貨物獲得に取り組んでいます。

このような中、国においては、我が国港湾の国際競争力の強化を図るための戦略として「港湾整備事業の選択と集中」に乗り出し、世界に通用する港湾のハブ化を進めていくという動きに併せ、日本海拠点港湾構想を打ち出しました。

日本海物流を考えたとき、本州のセンターゾーンに位置し、対東アジアとも至近距離にあり、インフラ整備が進み、環日本海交流の歴史を持つ、北陸地域にある港湾を戦略的拠点港湾と位置付けることは、東アジアの時代に相応しい日本の国づくりに貢献するものであると考えております。

つきましては、北陸地域にある港湾の「日本海側拠点港湾」としての位置付けを具体化し、日本海側からも高水準なサービスが提供できるよう特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。